

▶◀インフルエンザの歴史▶◀

インフルエンザの歴史は古く、古代エジプトや古代ギリシャの時代にインフルエンザウイルス流行によく似た記録があるそうです。

日本でも平安時代、インフルエンザ流行をうかがわせる記録が残っています。平安時代の書物「大鏡」には、「一条法皇がしはぶきやみのために死去」とあり、「増鏡」には、「しはぶきやみ、はやりて、人多く失せたもう」とあります。この「しはぶきやみ」という病名は、「源氏物語」にも出てくることで知られています。ただし、インフルエンザを科学的に判定できるようになったのは1900年代に入ってからのもので、それ以前についてはインフルエンザウイルスによるものかどうかは確かではありません。

インフルエンザウイルスのタイプはA型、B型、C型の3タイプに分類されています。

A型：ヒト、鳥類、ウマ、ブタなどに感染 世界的大流行（パンデミック）を起こす

B型：ヒト、アシカに感染 パンデミックは発生しない

C型：ヒトとブタに感染 A型、B型より稀であるが、重篤化することもある

鳥がかかる鳥インフルエンザ、ブタがかかる豚インフルエンザ等があり、鳥インフルエンザは鳥からヒトへうつることはありますが、鳥インフルエンザにかかったヒトからヒトへうつることはありません。ただし、これが遺伝子変異を起こしてヒトからヒトへ持続して感染する力を持った場合、新型インフルエンザと呼ばれるようになります。2009年に豚インフルエンザが新型インフルエンザとなり、世界的に流行を防ぐため、様々な取り組みがなされたことは記憶に新しいかと思えます。

1918～1919年に大流行し（パンデミック）、全世界で2000万人以上の死者を出したスペイン風邪のように、新型インフルエンザによって多くの死者を出すことがないよう、私たち人類は常に新しい知識を持って、予防・対策をしていく必要があります。

出典：感染症情報センター 予防衛生協会 静岡県立こころの医療センター

◆◆◆インフルエンザ感染予防法◆◆◆

- ①流行前のワクチン接種
- ②適度な湿度の保持
- ③人ごみなどの外出は控える
- ④外出後の手洗い・うがい

*同居されているご家族の方もワクチン接種されることをお勧めします
やむを得ず外出して人ごみに入る場合は、マスクを着用しましょう。



インフルエンザ感染予防についてお知らせとお願い

感染予防の立場から以下のことにご協力お願いします

高熱(37.5℃以上)のある方は必ず来院前にお電話ください。

大野内科医院 TEL 028-633-3777

透析日の場合、透析室には入らず先に外来診察を受けていただきます。透析日以外の場合も外来診察になります。（車で来院の方は車中での診察になります。可能な限り車でご来院ください。）

いずれもお電話をいただいたときに、来院していただく時間や注意事項などを詳しく説明させていただきます。

万一、インフルエンザウイルス感染症と診断された場合、院内感染予防の立場から他の患者さんと時間をずらして、透析を行うこととなります。

また、発熱、咳やのどの痛みなど風邪症状がある場合は必ずマスクを着用していただきますよう、ご協力お願い致します。

★インフルエンザ流行時期のお願い★

インフルエンザ流行期間は外来患者さんからの感染防止のため、外来・受付にいらっしゃらないようにお願いします。

<心電図・レントゲン検査>

エレベーター前の廊下のベンチ・椅子にかけてお待ちください。順次ご案内させていただきます。※期間については、適時お知らせいたします。

<事務>

医療費集金・保険証確認等は透析室看護補助に渡してください。

